

2012. 1.19

IEEE GRSS(Geoscience and Remote Sensing Society)共催
平成23年度東北大学電気通信研究所共同プロジェクト研究会

“民生用合成開口レーダ(SAR)システムの開発と応用”

1. 開催日時:平成24年 2月 2日(木)13:30-17:00

2. 場所:東北大学電気通信研究所 1号館N棟4階講堂(N408)

(<http://www.riec.tohoku.ac.jp/overview/access/index-j.html>)

3. プログラム

13:30-13:35 はじめに: 研究会代表者

間瀬 淳(九州大学 産学連携センター)

13:35-14:00 国土交通省の災害対応～東日本大震災における災害ヘリの活動を中心に～

宮川康平(国土交通省防災課災害対策室)

14:00-14:30 Pi-SAR-L を用いたタイ洪水状況の監視

島田政信、祖父江真一、河野宣幸、大吉慶、向田明 (JAXA)

14:30-15:00 航空機 SAR によるバイスタティック観測

原 芳久(三菱電機 鎌倉製作所)

15:00-15:30 休憩(30分)

15:30-15:50 航空機搭載合成開口レーダ“ATSAR”の紹介

能美 陽 (アルウェットテクノロジー(株))

15:50-16:30 リアルタイム画像レーダ “Live SAR”およびレーダソフト

”SAR-Tools”の開発

犬竹正明(東北大通研)、間瀬 淳(九州大産学連携センター)、
近木祐一郎(福岡工大)、Live SAR開発グループ

16:30-17:00 地上設置”GB-SAR”による土砂崩れ監視

佐藤源之(東北大東北アジア研究センター)

研究会終了後、懇親会(一般3000円, 学生1000円)

会場: 通研1号館1階談話室

研究会幹事: 犬竹正明

022-217-5478

inutakem@riec.tohoku.ac.jp